

国土交通省 中部地方整備局
天竜川上流河川事務所 遠山川砂防出張所
天竜川上流工事安全協議会 遠山支部
令和3年度 第1号 (令和3年/4月発行)

カモシカ通信



うらかな日差しのもとでさまざまな花々が咲く春を満喫でき、あらためて日本の春は美しいと実感しているところです。特に信州の春は特別だと思います。

さて、今回のカモシカ通信は、「令和2年度 天竜川水系遠山川砂防管内整備工事」のご紹介と、異動で交代した出張所長のご挨拶申し上げます。



令和2年度 天竜川水系遠山川砂防管内整備工事



株式会社 近藤工務店



一年ぶりに、天竜川上流河川事務所の工事を担当しています。



現場代理人 遠山 道一
主任技術者兼任です。

この工事は、遠山川砂防出張所管内にある既設の砂防施設を維持補修する工事です。

遠山川流域(342.5km²)で国による直轄砂防事業が始まったのが昭和53(1978)年4月からで、これまでの43年間に、砂防堰堤が20基、砂防林1カ所、砂防堰堤群1,260m、流路工106m、護岸203mが整備されています。これら砂防施設の機能維持や補修を主に行っています。工事期間中は地域の皆様方に、大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いします。



出張所の小さな「藤棚」です。
(4月20日頃から見頃となりました)

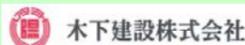
私が「建設業」について思うこと。

出張所長から依頼されたので、私が思うことを書いてみます。私は還暦をとっくに過ぎていますが、丈夫な体と私を支えてくれる人々のおかげで、今でも現場を担当することができます。建設業に就いていなかったら、今まで働き続けてこれたかどうかわかりません。つらい、やめたいと思ったことは当然ありましたが、今日まで無事にやってこれたことに感謝しています。

建設業は、かつて6K(きつい、汚い、危険、給料が安い、休暇が少ない、帰れない)職場などと言われた時期がありましたが、実際は働き方改革などにより全く変わってきています。にもかかわらず、建設業に就職する若者の数は減っていく一方です。社会基盤を支える重要な業種であるにもかかわらず、これからの社会を担っていく若者に見向きもされていない現状をさびしく感じます。若い人が一生懸命働いているところを見ると「元気」をもらえるんですね。だから、若い人とは話は合わないし煙たがられることもあるけど、一緒に働きたいと思うのです。

令和2年度中に施工していた工事が完成しました。

令和元年度 天竜川水系ツバタ沢砂防堰堤工事



木下建設株式会社

令和3年3月17日に工事が完成しました。約20ヶ月と長い工期となりましたが、工事期間中は、地域の皆様には、本当に良くしていただきました。ありがとうございました。

現場代理人 西村 光樹
監理技術者 平栗 浩二



令和元年度 天竜川水系柳沢砂防堰堤工事用道路工事



木下建設株式会社

令和3年1月8日に工事が完成しました。工事期間中は、地域住民の皆様には、ご迷惑をお掛けしました。皆様のご協力により工事を無事に終了することができ誠にありがとうございました。

現場代理人 松原 雄



令和2年度 遠山川砂防管内・中流地区地すべり対策整備工事



TRYNET 株式会社 トライネット

令和3年3月31日で工事を完了することができました。現場が点在していたため、いろいろな地区の住民の皆様のご協力いただきました。どうもありがとうございました。

現場代理人 中塚 義



遠山川砂防出張所の一節

着任のごあいさつをさせていただきます。



この度、遠山川砂防出張所に出張所長でお世話になります 石田勝志です。

皆様には、直轄砂防・地すべり対策事業へのご理解とご協力を賜りありがとうございます。当出張所には、平成12、13年度の2年間技術係長としてお世話になりました。約20年ぶりの勤務となります遠山川流域は、新たな道路が整備され、驚きと変わらない美しい自然と景観に感激しています。

この自然あふれる地域の安全、安心な暮らしの実現に貢献できるよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。

地すべり対策工事の着工式を行いました。

去る令和3年3月28日(日)に、天龍村立天龍中学校のグラウンドにおいて、地すべり対策工事の着工式を行いました。コロナ禍のため、出席者を減らしての式典となりました。

令和元年6月15日に、「天竜川中流地区直轄地すべり対策事業着工式」を行い、事業が始まりましたが、いよいよ実際の工事に着手していきます。参加者全員で工事の安全と地域の安全安心を祈念しました。



天龍村長様による祝辞



ボーリングマシンのスイッチON!